

令和元年度
第1回 加賀市健康福祉審議会 こども分科会 議事録
(第1回 加賀市 子ども・子育て会議)

日 時 令和元年6月12日(水)午後2時～4時15分

場 所 かが交流プラザさくら 201会議室

出席者 <会 長>近藤裕成氏

<委 員>河原廣子氏、佐野明子氏、川倉和子氏、高市英明氏、北澤陸夫氏、角谷直樹氏、
岡島広子氏、中池明美氏、山口美幸氏、俣本沙織氏、中西美智子氏 (以上 12 名)

<事務局>堀川健康福祉部長、奥村子育て支援課長、北口健康課長、
谷敷こども育成相談センター所長、藪井子育て応援ステーション所長、
米屋子育て支援課課長補佐、河崎子育て支援課課長補佐、新家子育て支援課主査、
口出子育て支援課主事

1 開会

2 委員紹介

3 あいさつ

4 議題

(1) 平成 30 年度の活動等の実績について

- ① 子育て応援ステーションの運営状況について
- ② こども育成相談センターの運営状況等について
- ③ かがにこにこパークの運営状況等について

(2) 加賀市の現状等(平成 31 年 4 月 1 日)について

- (3) 子ども・子育て支援事業計画の策定について
- (4) 加賀市公立保育園再編基本計画について
- (5) 加賀市子ども未来基金の活用実績について
- (6) その他

5 閉会

(事務局)

定刻になりましたので、ただいまから令和元年度第1回加賀市健康福祉審議会こども分科会を開会いたします。委員の皆さまにおかれましては、お忙しいところご出席をたまりまして、誠にありがとうございます。本年度もどうぞよろしくお願いたします。

本日は、健康福祉審議会並びにこども分科会が改選され、初めての分科会でございます。

それでは、会議次第に従いまして、進行して参りたいと思います。まず、最初にお手元にお配りしてあります座席表に従いまして、順にこちらの方からご紹介をさせていただきますので、よろしくお願いたします。今回、各団体の役員改選等に併いまして、新たに5名の方々が就任されました。新しい委員の方々への委嘱状の交付ですが、お手元の封筒の中に入れてさせていただきましたので、これ

をもって公布に替えさせていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

(事務局)

- ・各委員紹介
- ・事務局紹介

(健康福祉部長)

- ・あいさつ

(事務局)

では、健康福祉審議会条例の規定に基づき、会長が会議の議長となりますので、近藤会長に会議の進行をお願いいたします。

(議長)

お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。会長を務めさせていただきます近藤でございます。円滑な議事の進行にご理解とご協力をお願い申し上げます。

お手元の次第に従いまして、本日の議事を進めます。よろしくお願いいたします。

本日の会議ですが、健康福祉審議会条例の規定に基づき、委員 18 名中、現在 11 名が出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、議題（１）の「平成 30 年度の活動等の実績」について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

【資料 1 に基づき説明】

【資料 2 に基づき説明】

【資料 3 に基づき説明】

(議長)

ありがとうございました。ご意見、ご質問等はございませんか。

最初に、「子育て応援ステーションかがっこネット」に関して、いかがですか。些細なことでも結構です。最近、児童虐待が話題になっていますが、皆さんがお感じのところで、例えば、「加賀市の実働状況を知りたい」というようなことでも結構です。通告件数は増えてはいませんが、いかがですか。

(委員)

これは児童虐待の通告の数字だと思いますが、先ほどの説明には、その後の連携についてのお話はありませんでしたか。

(事務局)

連絡がありましたら、子どもの安全確認ということで、保育園や学校等、所属するところに連絡を取り、もしケガがあれば目視確認ということで、実際に保育園等に出向き、実際にそのケガを見て、児童相談所にもその写真を送り、相談いたします。特に顔のケガは難しいので、見ていただき相談しています。親御さんにお話しするときも、「なんで私らが」という思いもありますので、保育園や学校、まず気づいたところが、お父さんやお母さんに連絡をしていただき、お話をしていただいた後に、「育児は大変だから」ということで、こちらにつないでいただき、私どもがお父さんやお母さんとお話をしています。

(議長)

他にご意見等はございませんか。

「24時間以内に確認した人数」となっていますが、実例として、「24時間以内に確認できなかった」ものはありますか。

(事務局)

ないです。泣き声通告もありましたが、その家の方は「保育園に行っている」ということで、保育園に確認しました。全員、確認ができております。

(委員)

加賀市は転出・転入が多いと思いますが、このような連携はどのような形で行われていますか。

(事務局)

他市からの要保護児童が転入する場合は、必ず、事前に同じ部局から電話で連絡をいただいています。また、文書でも後日、情報が送られてきます。本市からの転出のときも、同じような形で対応しております。

(議長)

他にご意見等はございませんか。

スマイリーネット事業のお出かけ啓発ですが、保育園に行っていない子たちへの周知徹底はどのような形でなされていますか。

(事務局)

健康課の方にも協力いただいて、検診の後や7カ月教室、10か月教室、また、広報や毎月カレンダーの中にも載せています。

(議長)

みなさんご参加いただいているということですね。

他にご意見等はございませんか。では、次の育成相談センターの運営に関して、ご意見ご質問等は

ありませんか。

(委員)

聞き違いか理解不足なのかもしれませんが、5ページに通所指導の26年から30年度の延べ人数がありますが、減っていることについて、「相談はあるけれど欠席している」ということで、「体調不良」や「働いている」という理由で減ったのではないかという説明がありました。欠席で終わっているのか、それとも改めて相談の機会を設けているのか、どちらでしょうか。

(事務局)

今の質問に対してですが、実際に毎月2回通所している親子ですので、欠席した場合は必ず電話で理由も確認した上で、できれば違う日を紹介し、調整しながら進めている部分もあります。1回だけの相談ではなく、定期の親子通所の対象の数字です。

(委員)

相談したい保護者なり、相談者に対しては、必ず何かの機会に相談を受けていると理解してよろしいですか。

(事務局)

はい、そうです。年間を通じて、月2回、定期的に通っておられる方ですので、続けて対応しながら相談にのっています。

(議長)

他にご意見等はございませんか。「育てにくさ」を感じるか感じないかということだと思います。2日前に、1歳半検診がありました。そのときに親御さんを書いていただく問診票で、「育児は楽しいですか」「相談する人はいますか」「夫がパートナーとして育児に協力してくれますか」というアンケートをとっていました。いつも診察をしながら気になっているのですが、「育てにくさを感じている」に丸をつけた場合、市として何かフォローをしているのですか。

(事務局)

健康課では、4か月検診、1歳半検診、3歳2か月児検診において、問診項目はどの検診項目も、確認をしています。特に、1歳半検診においての「育てにくさを感じている」割合は、直近の30年度においては21.8%ということで、年々増えている状況もあります。そのような回答をしていただいた方には、実際の検診の状況等、またお母様方のお話をお聞きしながら、幼児相談のほうで話を聞かせていただいたり、ご家庭に訪問させていただいたり、対応をさせていただいております。必要に応じて、たとえば3歳2か月児検診の後に、子ども育成相談センターのほうにご紹介させていただくというような、つながりをもった対応をしております。

(議長)

ありがとうございます。

子ども育成相談センターとのつながりがしっかりしているかどうかを危惧していました。また、最近、連れ子で再婚された方で、虐待のトラブルになっている事例が多いような気がします。そのような家庭状況を、市としてはある程度把握できるものでしょうか。個人情報なのでどうなのでしょう。

(事務局)

相談があったときにはお話しは聞けますし、保育園に行っていれば、保育士は家庭の状況を把握できますので、そこで気になるお子さんについては相談したりすることはあります。

(議長)

そのような家庭だからといってピックアップするわけではありませんが、気になる家庭があったときには、把握はできますよね。

(事務局)

はい。相談の背景については確認するようにしております。

(議長)

他にご意見等はございませんか。最近、悲惨な事件が多いように思い、気になります。個人的意見やご経験でも結構ですので、ご発言ください。

では、次に「かがにこにこパーク」に関して、ご意見ご質問等をお願いします。事業としては大変成功して、うまくいっていると思いますが、いかがですか。この分科会である程度提案し、大変頑張っていたいただきました。この事業が成功して、本当によかったと思います。皆さん喜んでいます。市外からも収入が入りますが、メンテナンスにそれなりの資金がかかるのでしょうか。

(事務局)

当初予定しておりましたよりも、清掃費、修繕等、メンテナンス費はかかっています。

(議長)

幸い大きな事故もないようなので、とてもよかったと思います。1月1日を休みにするかしらないかという議論がありましたが、今後、どのようにされますか。

(事務局)

今年度につきましては、年末年始も開館して、様子を見させていただきたいと考えております。今年度の実績をみて検討させていただきます。

(委員)

今年の冬は雪が少なかったということもありますが、積雪があった場合は、立地的に除雪のための予算は確保されているのでしょうか。

(事務局)

除雪機械を予め用意して、指定管理のほうでもある程度の準備はしておりました。ただ、実績は今年ありませんでしたが、そちらのほうと連携しながら必要な除雪を対応するというのを考えております。

(議長)

ありがとうございます。他にご意見等はございませんか。

では、先の議題に進みます。議題(2)の「加賀市の現状」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料4に基づき説明】

(議長)

ありがとうございました。事務局からの説明が終わりましたが、本件につきまして、ご意見、ご質問等はございませんか。

(委員)

最後に説明された法人立保育園の今年度の実態は1割減少が続いているということで、将来的にも減っていくかもしれませんので、その実態に合わせて再編をということだと思いますが、もう少し具体的にお聞かせください。

(事務局)

加賀市の保育は、現在、公立保育園と民間の保育園が合わせた29園で行っています。資料をご覧いただくとおり、法人立の園では公立に比べて、さほど減少しておりませんが、公立保育園については少子化に伴い、現在の児童数が10人、20人という小規模化が進んでおります。また、人口当たりの保育園の数が、他市に比べて多いという現状もあります。ある程度、集団性も確保したいという思いもありますし、保育士の処遇も含め、再編を検討する必要があると考えています。

(委員)

冒頭で、三木保育園が休園したというお話がありましたが、跡地利用についてはどうお考えですか。地元の考え方を第一とするのか、あるいは、かがっこ応援プロジェクトの中に、休園の跡地利用をするものがあるのでしょうか。

(事務局)

跡地活用に関しては、基本的に地元と協議しながら、有効な活用方法を検討していきたいと考えております。ただ、保育園の園舎のほとんどが、昭和 47 年後半から 50 年前半にできたもので、かなり老朽化しています。また、もともと保育園としてできた建物ですので、例えばいろいろな用途で使おうとすると、トイレ等を大人の方がそのまま使うことはなかなか難しいという事情があります。このようなことを踏まえ、地元から活用のご提案があれば、ご相談していきたいと考えております。具体的には、三谷保育園では放課後こどもプランや障がいのある方の学童保育のような形で、現在利用されています。市立南郷保育園についても、かもママや学童で利用されています。そのような事例もありますが、現在のところ、具体的な案はありません。

(委員)

利活用という点では、園舎はそのものが古いという現状があるかと思いますが、地元のほうからいろいろと提案があり、地元の子どもの居場所づくりという観点で利用したいという提案があったときには、ぜひ相談にのり、その地域の子どもが利用できるような支援ができるとよいと思います。

(事務局)

そのように対応したいと思います。

(議長)

他にご意見等はございませんか。今回、初めてご参加された方、いかがですか。加賀市の出生数をご覧になって愕然とされたかもしれません、これが現実だということです。

(委員)

3 ページの「コンピュータクラブハウス事業」ですが、この建物の 3 階で実施されているということですが、例えば大聖寺の居場所としては図書館もあり、ここにもあるということで、充実していますが、加賀市全域で将来的なプランはご検討いただいていますか。山代や片山津、ここまで来ることが難しいところのお住まいの親御さんもたくさんおられますので、広域的に利用できる場所があるとよいと思います。

(事務局)

ご提案、ありがとうございます。こちらにもありますように、国内初の取り組みということで、後程ご覧いただければわかるのですが、いろいろな 3D プリンタがあつたり、なかなか学校の勉強では十分満足できない子どもが、ここでなら能力が発揮できるというきっかけにもなりますので、できればお越しいただければ一番よいと思います。このような取り組みの効果をみて、考えていくことになるかと思えます。

(議長)

ありがとうございます。他にご意見等はございませんか。

(委員)

先ほどの保育園の話ですが、例えば、緑が丘とか橋立南とかは、地域からの要望が全く挙がってこないと判断すればよろしいですか。

(事務局)

地域から活用してほしいというご要望はありますし、民間からも売却のご相談もきています。そのような中で、緑が丘保育園は、地域のゲートボールとして活用していただいたり、一部、防災資材の用具庫として利用いただいています。橋立南保育園については、市の保育園の太鼓等、大きな備品の倉庫として現在活用しております。有効な活用のご提案があれば、お話を聞きしたいと考えております。

(議長)

ありがとうございます。

(委員)

先ほど公立保育園の児童数のところで、山代保育園は来年、5歳児が抜けたら話し合いをしていくというお話でしたが、潮津保育園は片山津保育園ができるまでは、このままでしょうか。

(事務局)

金明、湖北、潮津保育園に関しては、平成37年までに、現在の3園を1園にするという提案を前倒しにして、現在、片山津中学校の前のソフトボール場に、1つの新しい保育園の建設に向けて、準備をしているという状況です。

市の休園基準では「新年度に10名を割った場合は休園とする」とありますので、現状はその基準の中で考えていくことになると思います。

(議長)

来年度の予測ができると思うのですが、いかがですか。

(事務局)

現状から考えると10人を超える見込みもありますが、今の段階では、基準の中で判断するということになります。

(委員)

では、この4歳児が1人残れば、開園していくということですか。

(事務局)

そこは現実的な問題として、実情に応じて考えていくことになりますが、すでに園舎の建築に合わせて、3園の交流保育というものを実施させていただいております。潮津の方が金明に行ったり、湖

北に行ったり、湖北の方が金明に行ったりする中で、子どもたちの順応性というものに感心しています。交流保育で新しいお友達に会えるということに喜びを感じているという報告を受けています。そのようなことも考えると、早く新しい保育園をまずは建設に向けて、準備を進めたいと考えております。

(委員)

3園合同になるということも含めて、金明保育園に支援センターがあると思いますが、子育て支援センターは新しい合同園にそのままつくられるのですか。それとも、どこかの園につくるのですか。

(事務局)

再編の中での位置づけとしては、「子育て支援の拠点とする」というところもあります。昨年度から医療的ケアが必要な子どもに配慮した部屋等も含め、現在は新園に子育て支援センターを併設する予定です。

(委員)

今の場所は遠くて、一時預かりもなかなか難しいという声を聞きます。片山津だと少しは近くなるでしょうか。そのような設備が整うのであればよろしくお願ひしたいと思います。

(事務局)

一時保育は全保育園で対応できます。

アンケートの中でも、子育て支援センターやつどいの広場について、「よい制度だけでも知らなかった」という回答を多くいただきましたので、そういった場所があるということもお知らせしていくことも大切だと思っております。

(議長)

ありがとうございます。子どもをたくさんつくれる環境をつくらなければいけませんので、皆さんで知恵を絞りましょう。

次の議題に進みます。議題(3)「子ども・子育て支援事業計画の策定」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料5に基づき説明】

(議長)

ありがとうございます。ご意見、ご質問等はございませんか。ニーズ調査に目を通された方も在ると思いますが、とても細かいのでご不明点があればご質問ください。このスケジュールだと、なかなか大変だと思ひます。

加賀市のアンケートは回収率がとても高く、よいご意見がたくさん出ていると思ひます。

課長より補足はありませんか。

(事務局)

たくさん設問があるアンケートに、8割近くのご回答をいただいたことは、非常にありがたいと思います。このアンケートの回答の中で、いろいろな補足説明をさせていただいていますので、回答することで、いろいろな制度を新たに知っていただく機会にもなったかと思います。アンケートの回答に際して、やはり回答されるのはお母さんだということで、お母さん目線のご意見をたくさんいただきました。男性の育児に関する関心や参加という意味合いからも、男性にも積極的にご回答いただきたいと思いました。

また、育児休業制度の取得について、制度としては整っておりますが、なかなか取得しにくい、特に男性では取りにくいということがあります。市で直接、事業を実施する以外も、制度の浸透や働き方改革も意識していかなければいけないと思います。

(委員)

資料をみせていただき、子どもの貧困対策について、どこかに必ずあると思いますが、私の目では見つけられません。子どもの貧困対策についての支援事業が、この計画の中に位置付けられているのかわかりませんが、当然、そのようなことは視野に入っていると思います。ぜひ、子どもの貧困に関して、加賀市は十分に把握しながら対策をとっていると思います。これから策定しようとしていることに、十分反映できるような基本計画ができるとよいと思っています。7月から8月にかけて、現状分析がスケジュールの中にありますが、その分析をしっかりと行い、加賀市ならではのプログラムができることを期待しています。ぜひ、実現する方向でがんばっていただきたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

(議長)

他にご意見等はございませんか。

(委員)

先ほど言われました、「父親の意見があまり反映されていない」という点に対し、加賀市として何か対策を講じますか。例えば、職場でアンケートをとるとか、加賀市ならではの方策をお考えでしょうか。

(事務局)

子どもの状況としては、一番よくわかっていただいている方に回答していただけるということで、今後のニーズ量等は把握できると考えております。ただ、育児参加という意味合いからすると、お父さんにも回答していただけるとありがたいと思いました。私の反省も含め、そのように感じました。

(議長)

父親にはなかなか難しいかもしれません。

他にご意見等がなければ、次に進みます。議題（４）の「加賀市公立保育園再編基本計画」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

【資料6に基づき説明】

(議長)

ありがとうございます。ご意見、ご質問等はございませんか。

(委員)

再編スケジュールでは、山代地区は33年度には5園から2園になるという予定ですが、たぶん加陽が残り、山代、庄、勅使、東谷口で1つという考えかたですか。そうすると、片山津のように、どこにその1園をもっていくのかと思い、ご質問いたしました。

(事務局)

現在の再編計画では、具体的にどこの園をというの、ありません。ただ、平成28年3月に保育園の再編計画を出した後、平成29年2月に小中学校の適正配置計画が出されました。保育園の再編と小中学校の配置というものが、ある程度リンクするところもあるかと思えます。学校のほうは複式学級を解消したり、1学年で2学級以上になるように、というような計画の中で、方向を出しています。その辺の兼ね合い等もみながら、進めてまいりたいと考えております。

(議長)

私の記憶は曖昧ですが、この再編スケジュールは5年ほど前からあったかと思えます。これは変わっていませんか。

(事務局)

平成19年に、統合民営化計画というものができ、民営化も含めて進めておりました。そこで、一旦、計画が白紙になり、26年頃から、改めて検討に入ったということです。27年に計画を策定して、28年に公表しました。

(議長)

ありがとうございます。

他にご意見等はございませんか。

(委員)

保育園の統合については以前からお聞きしていただきましたので、その点については理解しているつもり

ですが、保育士について、正規の保育士と非正規の保育士さんの割合を考えると、この先、統合することで保育の質について、移行期間も含め、どのようにお考えですか。

(事務局)

現在、保育士の正規職員と非正規職員の割合はほぼ同じです。ただ、臨時職員に関しては、例えば早朝の2時間だけとか、6時間勤務という方もおられますので、単純に常勤換算すると、正規職員のほうが多いという現状です。雇用状況としては、現在、例えば、ご無理を言って、退職したOBの保育士に臨時的に保育をお願いしている部分がありますが、そのような状況は解消に向かうと思っております。

(議長)

よろしいですか。

(委員)

ということは、移行期間は我慢するということでしょうか。

(事務局)

市としては、保育環境を整えるためにも再編を今後も進めていきたいと思っています。

(議長)

他にご意見等はございませんか。

(委員)

私は人事の仕事をしておりますので、保育に関して従業員から相談を受けたりすることがあります。この再編についてですが、私は今、中学3年生の娘が通っているときに再編の話があり、保護者会でも取り上げられました。それが後回しになり、今年から休園ということになりました。市として、このような再編をすると、本当に少子化に歯止めが効くとお考えですか。

私どもの従業員には、加賀市同士の方でも結婚すると加賀市から転出する人がいます。「なぜ出たのか」と聞くと、「保育園が近くにないから」という意見が結構あります。小松市やあわら市に行ってしまうケースもあります。私の場合は、三木で会社が近かったので、「何かあればすぐにいける」ということでしたが、もし再編が進み、遠くの保育園に預けなければいけなくなった場合、国は共働きを推奨するけれども、「地域に保育がない」ということになります。民間の保育園は希望が多くて、なかなか入れません。この市が行おうとしている方向性では、子どもたちが加賀市にたくさん集まるのか大きな疑問です。確かに企業であれば、このように再編しなければ財源が確保できないということになると思いますが、子どもや若い人が加賀市に残り、育児をしていこうと思うと、この速さで再編していった大丈夫なのか不安に思います。

三木保育園では、保護者の方が声かけ等いろいろして、何とか集めようとしています。本来、公立の保育園であれば、広報等に、大々的に子どもを預けやすい状況について載せるべきだと思います。

地域の親御さんだけが一生懸命にがんばるのは、なぜか疑問に感じていましたので、ご質問しました。

もう1点は、加賀市は若い人たちを増やそうということで、婚活事業にも投資していますが、それはこの計画とリンクするべきだと思います。これはこども分科会ですので、仕方がないかもしれませんが、本来は、婚活事業に投資した部分と、そこで残った人たちの状況はリンクしなければいけません。そのリンクはどこに挙がっていますか。より全体的な流れで進めていかないと、子どもは残らないと思いますし、さらに就業人口自体も残らないと思います。

加賀市に残らない理由を聞くと、子どもを育てる環境が整っていないということは、現実としてあると思います。先ほどの厚い資料にも水道代が高いという意見が載っていましたが、これは、実際従業員が言っていることです。これは、企業にとっても大変辛いことで、企業が水道代金を出すわけにはいきません。そのようなことで、これでは若い人が本当に残るのか疑問を感じます。保育園も、中学校区に1か所としていますが、最終的には残らないような気がします。市の考えをお聞きしたいと思います。

(事務局)

まず、県内各市の状況をお伝えします。平成30年の状況ですが、加賀市は30園あり、小松市は42園、白山市は39園ということで、人口あたりの保育園の数にしますと、他市よりもかなり多いということで、これが再編計画をつくった当時の状況です。小松市、白山市、能美市においても、民営化や統合を進めている状況であります。

園に通いにくくなるというお話がありましたが、今回のニーズ調査の中で、「保育園にどのようにして通いますか」という設問の中で、ほとんどの方が「自家用車で通う」とご回答されています。そのような中で、「現在、どれぐらいの通園時間が必要か」そして「どれぐらいまでの通園時間が許容できるのか」というニーズ調査もしております。地域の中の園に、徒歩や自転車で通うということが理想ではありますが、現在の状況を踏まえた上での判断になるかと思えます。

子ども施策について、確かに水道代についての記述がありましたが、市としても、例えば「保育料の軽減」「子ども医療費の助成」「学童等の支援」他にも「学校給食費の無料化」「不妊治療費の助成」等も、他市の状況をみながら、施策を展開させていただいております。確かに水道代に関しましては高いという部分がありますが、他市と比べて県内でもっとも安い部分もありますので、そのようなこともしっかりとご説明していかなければいけないと思います。

婚活の話については、出生数の報道の中で気になったことは、現在の施策では、どちらかというの出産後に軸足を置いた施策が多いと感じます。今後は、結婚、妊娠、出産に向けての手厚い施策ということで、例えば、婚活や働き方改革により男性の育児参加、テレワーク等、新たな部分についても今後の子育て施策には必要だということで、考えていかなければならないと思っております。

(議長)

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

他にご意見等はございませんか。

市の職員の方で、市外から通勤しておられる方はどのぐらいおられますか。増えているということはありませんか。

(事務局)

増えているということはないと思います。市外から市の職員に応募される方もおられますので、市内に住んでいただきたいという思いはあります。

(議長)

難しいですね。

(委員)

先ほどのお話で、出生前からの施策や働き方改革ということでしたが、加賀市内の高校を卒業しても、加賀市の企業に就職する人が少なく、小松市に就職する人が、特に女の子に多いという話を聞きました。福祉関係の仕事でしたが、なぜ加賀市ではなく小松市なのか、どこに魅力があるのか不思議に思います。加賀市の企業でもっと魅力をもち、市外に就職するのではなく、加賀市に就職していただきたいと思います。そのようなことも連携をとりながら進めていただけると、子どもの増加にもつながるかと思います。よろしく願いいたします。

(議長)

よろしく願いいたします。また、婚活事業をいろいろと企画してください。

では、次に進みます。議題（５）の「加賀市子ども未来基金の活用実績」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料7に基づき説明】

(会長)

ありがとうございます。ご質問等はございませんか。

(委員)

NPO法人かもママのまんぷく食堂では、子ども未来基金の支援をいただき、おいしい食事を皆さんでいただいております。加賀市との連携の中で、加賀市が見守っている家庭の方をご紹介いただき、地域につなげ、また地域でも子どもを見守らせていただくという連携ができてきたと感じています。多くの方にボランティアで関わっていただき、地域で野菜を育てている高齢者の方から野菜やお米のご支援をいただいたり、たまに商品券等もいただいております。

加賀市全体に何か所もでき、週1回どこかに行けば、そのような場があるという状況になるとよいと思い、今年2月頃に拡大のためのイベントをさせていただきました。なかなか広がってはいきませんが、今年度1か所、黒崎の橋立方面にできました。加賀市全体に広がるように応援させていただきたいと考えております。本当にありがとうございます。

(議長)

他にご意見等はございませんか。全体を通して、ご意見等があればお願いします。

(委員)

加賀市のPTA連合会から参りました。私は3人子どもがおり、一番下が中学生です。子育ても以前と比べてとても多くの支援をしていただいております、今、産めばよかったと感じるほどです。

湖北地区に合併のお話がでたときに、やはり親として大きな不安を感じましたので、反対していましたが、今、子どもが大きくなり、少し離れたところから見ると、子どもの少ない状態での保育よりも、子どもがたくさんいる中で、いろいろな体験をして過ごすほうがよいと思い、再編については賛成しています。ただ、親として、保育の中身も大事ですが、通園手段を考えると、毎日の生活の中で、朝の通園時間の混雑等、心配なことはあります。そのようなことも考えて、再編計画を進めていただきたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。保育士とも相談させていただきながら、進めてまいりたいと思います。

(委員)

加賀市はPRが下手だと感じます。

(委員)

ネットで調べると、上下水道の値段比較が出てきます。今の若い人たちが、安い場所に行くということは、選択肢の1つとしてあると思いますが、固定概念として、例えば、以前から「小松市は自衛隊があるから、税金や水道代が安い」と言われていて、真偽のほどは確かでなくても、それを信じている方がいると思います。

また、忙しい子育て世代の若い母親で就労している方は、広報を見る時間はないと思います。私もこの年齢になって、広報をめくる時間ができました。ネットの新幹線のコマーシャルが大変よくできており、市の方、地域の方、温泉の方、いろいろな方が出てきて、見ていておもしろく、ワクワクするものです。あのようなものができるとすれば、子育てのことや婚活のことも、もっとPRできるのではないのでしょうか。加賀市は、県内初のことを実践しているのであれば、もう少しアピールして、若い人たちに選んでもらえる、残ってもらえるようにできると思います。もったいないと感じます。

私の息子も加賀市に戻ってきましたが、就職は小松市にしています。以前の職場は加賀市内でしたが、独身の方が私の年代の方にもたくさんおられました。それは、やはり出会いの場もなく、日々の生活に追われていると新しい出会いもないということで、企業同士の交流等、市がバックアップしたり、補助をしたりして、企業を巻き込んでいけるとよいと思います。そのようにすることで、住む人も子どもも増えると思います。

(事務局)

ありがとうございます。今年度から政策戦略部という部をつくりました。その中で、シティプロモ

ーションということで、「加賀市をプロモーションしていきましょう」ということで、今年は戦略的に動こうということです。

市の人口減少対策室も婚活に取り組んでいますし、商工会議所等でも取り組んでいただいていると思います。市だけでなく、民間の方々も含めて取り組んでいただけていることは、非常にありがたいことだと思います。しっかりとPRをやっていきたいと考えております。

また、「加賀ポータル」というサイトをつくりました。例えば、「子育て支援に興味がある」等、個人の属性に応じた情報が出てくるというしくみもできています。そのようなところもPRしていき、なるべく加賀市から転出しない、逆に転入していただけるようにしたいと思います。

(議長)

私は長い間小児科をやっており、たくさんの保育所とお付き合いをさせていただいていますが、再編に関して、私は賛成しています。「子どもが学校に入るまでに、いかにもまれるか」ということで、ある程度の人数の中で競い合い、自己主張ができる子どもに育てていかないと、世の中を乗り切れないと思います。小さな保育所に通っていた子どもたちが、小学校に入りいじめに会うのを見ると、もともと揉まれないといけないと感じます。お母さんも、「ママ友との関係が嫌だから、小さな保育所がよい」とお考えになる方もおられます。それがよいことなのかどうかはわかりませんが、子どものためには、集団の中で揉まれてほしいと、いつも感じています。

加賀市は、やはり子育てに関しては大変に恵まれていると思います。これは自慢できることだと思います。検診等で、子育て支援課や健康課と密接な連絡を取り合いますが、すぐに動いていただけ、安心して任せられると感じます。この点については非常に感謝しております。

他にご意見等はございませんか。

では、本日の議題については、すべて終了いたしました。委員の皆さまには長時間にわたるご審議、ありがとうございました。

次回の審議会は8月の下旬に開催を予定しています。また、事務局よりご連絡いたします。

以上をもちまして、令和元年度第1回加賀市健康福祉審議会こども分科会を閉会いたします。ありがとうございました。